

地域医療の確保と自治体病院のあり方等に関する検討会 報告書

平成16年11月

総務省

目 次

1. はじめに	1
2. 自治体病院を取り巻く状況	2
(1) 自治体病院の役割等	2
(2) 地方財政及び自治体病院の厳しい経営状況	3
(3) その他自治体病院を取り巻く社会状況の変化	6
(4) 民間医療機関との経営比較と効率性向上の必要性	10
(5) 医師不足の状況等	14
3. 自治体病院の再編・ネットワーク化の必要性、効果及び課題	16
(1) 自治体病院の在り方を地域全体で検討すべき必要性	16
(2) 自治体病院の再編・ネットワーク化の効果	16
(3) 自治体病院の再編・ネットワーク化の課題	17
4. 自治体病院の再編・ネットワーク化の具体的な効果	18
(1) 山形県置賜地域における取組の内容等	18
(2) 山形県置賜地域における取組の効果	20
(3) 山形県置賜地域における取組の今後の課題	22
(4) 自治体病院の再編・ネットワーク化に類似する取組事例	23
5. 自治体病院の再編・ネットワーク化の検討手順	24
(1) 診療圏（二次医療圏など）ごとの現状分析の手法	24
(2) 分析及び分析結果の評価を行うにあたっての留意事項	25
6. 自治体病院の再編・ネットワーク化のための計画策定にあたって	27
(1) 住民のための計画であること	27
(2) 他の公的医療機関等の在り方を含めた検討	27
(3) 都道府県及び市町村の役割	27
(4) 都道府県立中央病院と大学（医学部）の役割	27
(5) 市町村合併との関係	28
7. 自治体病院の再編・ネットワーク化のための計画実現にあたって	29
(1) 都道府県及び市町村の役割	29
(2) 医療計画上の課題	29
(3) 再編・ネットワーク化のための財政支援措置	29
(4) その他の措置	29
8. その他自治体病院間の連携の促進について	30
<別添>	
診療圏（二次医療圏など）ごとの現状分析について	33
<参考資料>	
① 地域医療の確保と自治体病院のあり方等に関する検討会 開催要領	(1)
② 地域医療の確保と自治体病院のあり方等に関する検討会 構成員名簿	(2)
③ 地域医療の確保と自治体病院のあり方等に関する検討会 開催状況	(3)
④ へき地を含む地域における医師の確保等の推進について （平成16年2月26日 地域医療に関する関係省庁連絡会議）	(4)

報 告 書

1. はじめに

近年、自治体病院の経営状況は大変厳しいものとなっており、また、地域における医師の確保は、相当困難を伴うものとなっている。

このような状況の中、地域住民の医療ニーズを的確に把握の上、いかに地域における医療提供体制の確保を行い、良質な医療をどう効率的・継続的に提供していくことができるかが、益々重要な課題となっている。自治体病院の経営基盤の安定化を図ることはもとより、その再編・ネットワーク化など、地域における医療提供体制の抜本的な見直しについて、検討を進めることが求められている。

平成16年2月に、地域医療に関する関係省庁連絡会議においてとりまとめられた「へき地を含む地域における医師の確保等の推進について」(参考資料④)において、「1. 当面の取組」として、地方公共団体や関係機関との連携の下、自治体病院の再編・ネットワーク化のあり方等について検討を行うこととされているところであるが、平成16年5月に、地方公共団体関係者、自治体病院関係者、学識経験者、各省関係者等により、「地域医療の確保と自治体病院のあり方等に関する検討会」(参考資料①、②参照)を発足した。

この検討会において、地方団体からのヒアリングを含め、4回の会議を開催し、自治体病院の再編・ネットワーク化等について、総合的かつ詳細に検討を行い、この度その結果を報告書にまとめたところである。

この報告書を参考にされ、各地域において、自治体病院の再編・ネットワーク化が積極的に検討されることを期待するものである。